



<本年度クラブ会長方針>

繋ごう『クラブの心』、
築こう『クラブのさらなる繁栄』を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 丹下富博 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8口イナルビル6F
幹事 大上晃延 電話(052)251-0181 FAX(052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1921回例会

職業奉仕月間
令和6年1月25日(木)

SPEAK OUT DAY

於名古屋東急ホテル

会員 63名

出席計算数

57名中 43名出席

出席率 75.44%

前々回出席率 85.00%

例会プログラム

★チャーターメンバー表彰

★SPEAK OUT DAY

ロータリーソング

「大須ロータリーソング」

指揮者 鬼頭 茂成
ピアノ伴奏 富板 玲子

ニコボックス

今年初めてのSPEAK OUT DAYです。会員の親睦を図りましょう。

大上 晃延・加藤巳千彦
鷲津 光悦・田崎 雅三
岡村 隆徳・林 順治
杉本 忠夫・西脇 良輔
西垣亜矢子・川合 美幸

SPEAK OUT DAY楽しんでください。

誕生日です。

母の誕生日です。母は、体重が増えたと落ち込んでいましたが、元気です。

河合 誠弥
尾上 昇
照井 葉

会長挨拶

会長 丹下 富博

一昨日の日本経済新聞夕刊の「令和の「トバ」コーナーにFOMO(フォーモ) the Fear of Missing Out」の言葉がのっておりました。

「FOMO」は取り残される不安・恐怖のこと。近年、現代人のSNS病としてよくあがる「FOMO」は、LINEのデフォルトスタンプにもなっている。知っている人も多いようですが、調べてみると元々は2011年にNew York Timesが、この現象を取り上げ「FOMO」と名付けたところから令和の「トバ」ではない気がします。

ネットやSNSの普及によって広がった言葉で、常に周りの情報や行動についていけなさと自分が置いていかれたり、チャンスを逃してしまったりするのではないかと恐怖心を抱いてしまうことを指します。2013年からは世界で最も権威のある英語大辞典として知られる『オックスフォード英

語大辞典」にも掲載されました。

現実社会のイベント、たとえばある講演会へ出席するはずができなくなり大きな情報を逃したのではないかと焦燥感を覚える、情報から取り残されたくないと感じて時間さえあれば携帯を覗き見るなどして、SNSをこまめにチェックしないと不安に襲われるという症状だそう。爆上がりした株を買わなかったことを後悔して情報を四六時中チェックしないと不安を感じるようになることもFOMOと呼ばれるようですが、どれも根は同じのようです。

では、そのような不安状態に陥らないようにするためには、どのようにしたらよいかわります。

脳も使いすぎると不具合を感じる事態になります。スマホとの距離を空けてみるのもひとつだと思います。

FOMOの派生語でJOMO(じよも)というものがあり、「JはJoyのJ。取り残されることに不安を感じるのではなく、自分らしさを見出すなど、それを楽しんでしまう。

頭を切り替える魔法の言葉は、「あえて」。「あえて、株を見なかった」「あえて講演会にいかなかった」などと考えてみることによって主体性が生まれ、不安が喜びに感じられることもあるようです。

「癌」にたまるのが怖いので禁煙を試

チャーターメンバー表彰

みたが、楽しみを奪いたくないのであえて失敗した」
確かに我がクラブにも愛煙家はいませんが、どなたも喫煙室の中では楽しそうにそのほうが長生きするかもしれません。



著作者: Freepik



岡部 快園
 萩野 勝彦
 草野 隆彦
 吉田 昇
 尾上 正一・浅野 彰
 岩崎 征一



その他・お知らせ

【R-会長エレクトが】

24年度会長ターマを発表

国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトは、24年度会長ターマ「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary)を発表し、多くのひとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。

「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません」。1月8日、ロータリー国際協議会でアーチック会長エレクトは次期地区ガバナーにこう語りました。「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたびに寄付するたびに、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです」。

マクマリーRO(米国ペンシルバニア州)の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったとき「ロータリーのマジックを目に



しました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せて』と言ったのです」とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのでありません。浄水器を輸送設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということこそ、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になったと知ったことで、私の人生も変わったのです」。

平和を優先する

アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。

ロータリーには、平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史があると、アーチック氏は述べました。世界各地の名門大学に拠点を置く平和セン

ターは、現在140カ国以上で活躍する約1,800人の平和フェローを育ててきました。トルコのイスタンブールにあるパーチエシエヒル大学に設置される最新の平和センターでは、2025年に第一期フェローが学業を開始します。「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成するために、20年以上前に始まりました」とアーチック氏。「この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当り、ともに学ぶ機会となります」。

継続と変化のバランス

また、継続と変化のバランスを取ることも必要性も強調し、どちらもロータリー行動計画の原動力であると述べました。「この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの」とアーチック氏。「私たちは、バランスを取るといって難しいに直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」。

さらに、クラブでの体験を会員にとって魅力的なものとするために必要な対策を取るようガバナーに求めました。「これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれませんが、地区が過去50年間に同じ方法で物事を行っ

てきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれない。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではないかもしれません」。

アーチック氏は、好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)の原則を取り入れることであると述べました。「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たぶん、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人があっても」とアーチック氏。「DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注げば、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます」。



文: Eteka Lehoczky
 Rotary International
 (国際ロータリーHdより)

2月1日(木)例会の案内

例会変更 2月2日(土)

節分例会(職場例会)

12時30分~13時30分

於大須観音養生院

本堂下ホール(会議室)

*例券セシモノ・会費あり



麻雀同好会第52回例会

令和6年1月25日(木)
 於一富士

優勝	岩崎 征一 さん
準優勝	大上 昇延 さん
3位	杉本 忠夫 さん
5位	柴岡 正将 さん
7位	岡田 尚彦 さん
B.B.	尾上 昇 さん

賑やかに開催されました。会員募集中です！



2月8日(木)例会の案内

SPEAK OUT DAY

公共イメージ向上委員会

近藤 明美・小澤 幸男

松本 哲朗・桑山 光俊

*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。